

大人のための情報モラル通信

新年度に向けたルール作りについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

新年度から子どもにスマートフォンを使わせてあげようか…と考える保護者の方も多いかと思いますが、**最初の対応**が今後の子どもたちの生活に大きく影響します。

最初に機器を自由に使わせた後で、後から「やっぱりダメ」では、なかなか子どもは納得しません。想定されるトラブルには**最初からルールを考える**必要があります。

長時間利用・高額課金
(ネット依存傾向)



布団でスマホ

ゲームに没頭

チャットトラブル
(特にグループチャット)

- ・メッセージを無視
- ・多数の投稿を連投
- ・気に入らない相手を追い出す



祝 スマホ・タブレット **祝**
ゲット!



多くの子どもたちに見られるトラブルは**長時間利用**です。ネットの終了時間が遅くなると睡眠時間・健康に影響します。また、特に小学生は**課金トラブル**にも要注意です。

なお、学校現場で多いトラブルは大人数が参加する**チャット**によるもの。保護者が全てのチャットを確認することは困難ですが、緊張感を与えたほうがよいでしょう。

★ルール作りの具体案：「期間限定の貸し出し形式」★

緊張感を与えるのに効果的な方法として**「貸し出し形式」**があります。保護者の機器を子どもに期間を定めて貸して使わせ、その期間が過ぎたらまた新しい契約を交わします。

契約に違反した場合、子どもはスマホ等を保護者に返さないといけなくなります。その際、保護者がスマホの中身を見るといふ約束であれば、子どもも**緊張感を維持**できるでしょう。

期間を限定するのは、ルールを守る動機付けの為。一定期間ルールを守ると次の期間はルールが緩くなる…といった具合に**「守るとよいことがある」**という仕組みにしましょう。更新毎にスマホ等でできることを増やしてあげるのがポイントです。



ルール作りで最も重要なことは**「お互いの納得」**です。親子で合意したものを罰則も含めて確実に運用し、ルールの概念をしっかりと伝えましょう。**「家族全員のルール」**も作ると、子どもの納得感も増し、大人も子どもにお手本を見せられるかもしれません。